| 年度 2008　学期 前期 | 曜日・校時　金曜日・2校時 | 必修選択 必修 | 単位数 2単位 |
|---|---|---|---|
| 授業科目/(英語名) | 教養特別講義／(Colloquium) | | |
| 対象年次 1年次 | 講義形態 講義・講演 | 教室 201・中部講堂 | |
| 対象学生(クラス等)　M15 T21A | | 科目分類 共通基礎科目 | |

担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー

中村武弘/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:tak-nak@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部 315/TEL:819-2746 /オフィスアワー:水曜1校時
石松隆和/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:ishi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2508 /オフィスアワー:月3校時
戸田　清/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:toda@nagasaki-u.ac.jp/研究室:環境科学部/TEL:819-2726 /オフィスアワー:月曜5校時
姫野順一/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:himeno@nagasaki-u.ac.jp/研究室:環境科学部３F/TEL：819-2722/オフィスアワー:金曜日 16:00～17:00

| 担当教員(オムニバス科目等) | |
|---|---|

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち，平和を支え，社会に貢献する人材となることを期待する。

授業方法　:特別講演形式と講義形式の両建てにより行い，特別講演は学長，理事，名誉教授などが担当する。講義は，「長崎」3回、長崎「安全・安心」1回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。

授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ，ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により，学生生活の場である長崎の歴史，文化，自然を理解し，長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し，世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び，平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに，古来より，大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め，長崎の歴史，文化，平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

海洋と文化:　第1回:海洋の流動について
第2回:海洋の環境汚染について
第3回:海洋のエネルギーについて

長崎（安全・安心）:長崎に暮らす高齢者や障害者の生活の現状を眺め、安全安心のためになにが必要かについて述べる。

平和:　第1回:核時代を考える
第2回:戦争と資源・環境問題
第3回:直接的暴力・構造的暴力・文化的暴力

長崎:　第１回：写真術の伝播：出島における化学と文化の融合
第２回：写真師の誕生：上野彦馬と外国人写真家達
第３回：幕末長崎の曼荼羅：甦る江戸時代

第1回　4月11日　特別講演Ⅰ　齋藤　寛（学　長）
第2回　4月18日　海洋と文化　中村武弘（環境科学部）
第3回　4月25日　海洋と文化　中村武弘（環境科学部）
第4回　5月 2日　海洋と文化　中村武弘（環境科学部）
第5回　5月 9日　長崎(安全・安心)　高橋和雄(工学部)
第6回　5月16日　特別講演Ⅱ　田北　徹（名誉教授）
第7回　5月23日　平　和　戸田　清（環境科学部）
第8回　5月30日　平　和　戸田　清（環境科学部）
第9回　6月 6日　平　和　戸田　清（環境科学部）
第10回　6月13日　特別講演Ⅲ　辻　芳郎（名誉教授）
第11回　6月20日　特別講演Ⅳ　山野誠之（名誉教授）
第12回　6月27日　長　崎　姫野順一（環境科学部）
第13回　7月 4日　長　崎　姫野順一（環境科学部）
第14回　7月11日　長　崎　姫野順一（環境科学部）
第15回　7月18日　特別講演Ⅴ　福永博俊（教育担当理事）

| | |
|---|---|
| キーワード | ヒューマン・エラー，事故と被害，高齢者、地域、福祉、共生，古写真、写真術、化学、幕末、上野彦馬 |
| 教科書･教材･参考書 | 海洋と文化：教科書は使用しない。当日資料を配布し,プロジェクタで講義を行う。<br>長崎（安全・安心）： なし<br>平和：教科書は指定しない。映像を用い、プリントを配布する。参考書は適宜紹介する。<br>長崎：参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』九州大学出版会<br>教材：長崎大学附属図書館『明治７年の長崎・熊本・鹿児島』長崎文献社 |
| 成績評価の方法･基準等 | 長崎27点、長崎(安全･安心)9点、平和27点、海洋と文化27点、特別講演10点の配点とする。<br>長崎:レポートによる評価。<br>長崎（安全・安心）：レポート<br>平和:出席状況とレポートによる総合評価。<br>海洋と文化:出席状況とレポートによる総合評価。 |
| 受講要件(履修条件) | 特になし |
| 本科目の位置づけ/学習･教育目標 | |
| 備考(準備学習等) | |